

サウザンドブレイブ日記

くるみ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

色々あって、グレイシア島に行くことになりました。

二突射撃とか言う、とても強い流派があるらしいので見に行くらしいです。

初めての霧の町の外。

色々嫌なことばかりだったこの街をようやく出られると思うと涙が止まりません。

(以上、本文より抜粋)

霧の街出身の少女が、サウザンドブレイブの舞台であるグレイシア島へ行って

感じたことや思ったこと、びっくりしたことなどを書いた日記。

サウザンドブレイブを知ってるみんなも知らないみんなもぜひサウザンドブレイブの凄さとかネタとかで笑ってもらえると幸いです。

そして一緒にサウザンドブレイブやろう。

とか言ったら9月30日にサービス終わるらしいので公式のリンク削除しました。

本作はサウザンドブレイブがどういうものだったのか記録する意味でも続けていく予定です。

攻略Wiki(いつもお世話になっております。更新ありがとうございます) (ご)

<http://thousand-brave.gamemrch.>

※本小説は身内卓でミストグレイブの世界への理解を深めてもらうために制作した小説の中から、3章目を抜粋したものです。

※本小説を理解するのにサウザンドブレイブを理解する必要はありませんが、ソードワールド2.0を理解している必要があります。

※主人公の出自に関する情報はミストキャツスルのネタバレを含むため

本小説では取り扱わないことをご了承ください。

※身内ミストグレイブ卓の設定を大量に含みます。

この日記の主人公も身内ミストグレイブ卓で登場して本当にグレイシア島へ向かったNPCです。

目次

島につくまで	1
冒険者になりたいです	6
同じ人がいっぱいいます	9
拠点を作りたいです	12
はじめての冒険です (前編)	15
はじめての冒険です (後編)	19
二突射撃を覚えたいのです	22
ゴブリンの強さを検証したいです	25
報告の日です	28
帰ることになりました	31

島につくまで

○月★日 霧

色々あって、グレイシア島に行くことになりました。

二突射撃とか言う、とても強い流派があるらしいので見に行くらしいです。

わたしが行っても大丈夫か聞いたら、「護衛してくれんならいくらでもウチから出せるわよと言ったら

全員見事に黙ったので問題ない」そうです。

初めての霧の町の外。

色々嫌なことばかりだったこの街をようやく出られると思うと涙が止まりません。

：グレイシア島に行くことになったことを街の地下に行つたみんなに伝えるために

地下に行つたら、たまたま出会った男の人に、何かあつた時のためと連絡しやすいからと

という理由で日記を書いておいたほうがいいと言われました。

確かにその通りなので、霧の街に帰ってくるまで日記を書くことにします。

○月□日 霧

イグニス島から回り込むルートの方が楽しそうだったのだけど、すでに話が付いてるらしいのでダーレスブルグ経由で向かうことにしました。

人族の街は初めてなのでとても楽しみです。

グレイシア島でも人族と蛮族の戦いは続いているらしいので血にこだわりさえなければ、そこそこ長い時間いれそうです。

でも、何があるかわからないからストックは多めに持つておきました。

多分大丈夫だよね……？

○月※日 晴れ

はじめての霧の街の外。 蛮族がうろついているので血を補給しながら

ダーレスブルグに向かいます。

……太陽の光が辛い。 わたし、人間じゃなくなっちゃったんだよね……。

今まであんまり真剣に考えたことはなかったのだけど、よく考えたら霧が太陽を遮ってくれたからだだったんだ。

あんなに嫌だった霧の街が今では懐かしい。 人間じゃなくなっちゃったのが悲しい。

でも、わたしが自分で選んだ道。

生き残るために選ばざるをえなかったとしてもわたしが選んだ道だから。

受け入れるしかないのよね。 時間を巻き戻すことはできないのだから。

○月■日 晴れのち曇り

わたしが吸血鬼になった時に、言われた言葉を今でも覚えてる。

我々が君に提供できる力は前借り形式、要するに借金であり君は返済の責任を負う。

その責任がどのような形で現れるかはまだ未定だが、不幸になることだけは間違いない。

その代わり、君は努力と時間を先払いしなくても強くなれる。

借金は使い方次第だ。 大抵の借金なんてする奴は借金に借金を

重ねて早死にするが故に

このようなことは、普通はしないんだがね。君がそんなバカでないことを祈るよ。

まあ、形もなく定量もできないものを借りるような奴に言うことでもないが。

……こんな言葉を今更思い出すのは、やっぱり日差しが辛いからかなあ。

いけない。弱気になってる。せつかく人の街に行けるのだから頑張らないと。

○月◎日 曇り

蛮族を殺してる時に限っては、わたしが人間じゃなくなっちゃったことを考えずに済む。

もうちよつとやってきてくれてもいいんだけど、先に進むほど数が減ってる。

……減ってる分、街に近づいてるんだよね？

持ってきた矢の数を数えておかなきゃ。

あとのくらの数の殺せるか把握しておかないと。

いざと言う時に矢がありませんでしたでは、話にもならないから。

○月*日 雨

雨でそこそこ嬉しい。傘さえさせばいいから。

でも日記を書くときに濡れちゃうのが辛いので、今日はこれで終わり。

○月十日 晴れ

日記を書いておくといいつてアドバイスしてくれた男の人、本当にありがとう。

多分、この日記書いてなかったら辛くて心折れてたと思う。

日記を書くときだけ、昨日と違う気持ちでいられる。

太陽は辛いけど、それを忘れていられる。

今日は手頃な洞窟を見つけたのでそこで一泊。

中に妖魔がいたのでさくつと殺してご飯もゲット。

でも妖魔の血っておいしくないのよね。 まあみんなの敵だから絶対許さないけど。

○月÷日 晴れのち曇り

やっと街が見えてきた。 わたしやっと街に入れるのね……。

○月?日 晴れ

街に近づくにつれて吐き気がする……体がだるい……

これが守りの剣の力なのかな。 なるほど、これがあれば街は安全

だわ。

こういうのが、霧の街にもあったらみんなは死ななくて済んだのかなあ。

で、通行許可はもらえたけど、なんか強そうな人がわたしの周りを引きつちり固めてる。

でも今はちょっとだけ嬉しい。 あんまり長居できそうにないから。

船に乗って、目的地のグレイシア島へ。

はじめての人族の街なのに、あんまり見て回れなかった……

(以下後日追記)

実はこの日のために大量の剣のかけらを使って守りの剣を強化して
てたらしいと聞いたわ。

やっぱり人間じゃなくなつたから信用されないのかなあ。

冒険者になりたいです

○月！日 曇りのち晴れ

船に乗ってようやくグレイシア島、スタルトの街につきました！
吐き気もしません！ 守りの剣はないみたいです！

はじめて人族の街を見て回れます！

談笑して歩いている通行人、果物や肉とかを売ってる露店、

霧の街にないものがいっぱいあります。

いつも殺気が溢れている霧の街と違って、街の中は活気が溢れてい
て

みんなが楽しそうにしています。 ……遊んでる子供たちも。

わたしも、こういうところで生まれていればよかったのになあ。

ここで生まれてたら、生き残るために吸血鬼になんかならずに済ん
だのになあ。

いけないいけない。 日記を書く弱気になっちゃう。

これからここで色々できるんだから、わたしも楽しんでいいんだよ
ね？

楽しいこと、書こう。

せっかく楽しくいられる場所に來たんだから。

○月\$日 曇り

さて、二突射撃を覚えるには先立つものが要です。

ガメルとか、コネクションとか。

そもそもわたしの場合、人間じゃないから実績も必要なんだよね？

絶対無害だって言い張るための実績が必要なんだよね？

わたしには、特にできることはない。

後付の力で、それなりに戦えるけどそれしかできない。

だから、必然的に戦闘が必要な傭兵か、冒険者か。どっちかにならなきゃいけない。

ここにはいっぱい冒険者の宿があるみたい。

なんか剣精とか言うのがたくさんいて、その剣精の力を高めるために持ち主が

たいてい自分の冒険者の宿を持っているらしい。

だから、たくさん冒険者ギルドがある。そして、みんな競争してる。

ならきつとこの中のどれかひとつくらいは、わたしを受け入れてくれる。

明日はそんな場所を探そう。

○月@日 曇り

それにしても色々な冒険者の宿があつてぜんぜん覚えきれない。

名前が同じものさえある。活動してないところもいっぱいあつてよくわかんない。

見栄えもほとんど同じだからさらにわかんない。

いくつか、中を覗いてみたけど同じ人が2人くらい別々の冒険者パーティで食事してた。

あの人たちは掛け持ちなのかな？ 掛け持ちつて辛そうな気がするけど大丈夫なのかな？

と思つたら冒険に行つちやつた。

で、その人達の後ろ姿を見送つて、次の冒険者ギルドをのぞき見してみたんだけど、

さつき冒険に行ったパーティのうち二人が別のパーティ組んで報告してたの！

さつきの人たちは一体なんだつたの？ それとも、わたしの目がおかしいのかな？

ちよつとよくわからないから、色々人を見て回ってみようと思う。

同じ人がいっぱいいます

○月◇日 晴れ

晴れてて辛いけど今日は調査。

この街では、冒険者はギルドを掛け持ちするものなのか、それとも違うのか。

こういう調査は、夜にはできないから頑張らなきゃ。

1分もいると辛いから、適当に1分くらい歩いたら近くにあるギルドに入って調査と日記書き。

調査が終わる頃には体調も元通りなので、また1分くらい移動、の繰り返し。

日傘があんまり使えないのが痛い……。みんな日傘してないから不自然なのよね。

で、そこでアフレートさんって名前の男の人に会ったの。2人の。

信じたくないんだけど、どうやら同じ顔のつていうか、同じ人が複数人いるみたい。

で、同じようにみんなの名前を聞いて、次の宿に行つて……を繰り返すと

みんな同じ名前なんだけど、はじめましてって言ってくるの。名乗ったはずなのに、わたしの名前を聞いてくるの。

でも、特定の宿にしかいないって人はほとんどいないの。絶対これ蛮族の陰謀でしょ。サーチバルバロス使ったほうがいいと思うわ。

まあ、わたしにも反応しちゃうから使われると困るんだけどね。

わたしこの件には全く関係ないわよ！

○月「日 晴れ

そういえば、この街には剣精とか言うのがいたのを思い出したので

せつかくだから、劍精も見せてもらおうことにしてみました。
で、結果。 劍精も同じのばっかり！

ラエルリーフって名前の劍精がどこの宿にもいるんだけどおかしくない？

いや、劍精に限ってはおかしくないのかな。

同じ劍が同じ姿で同じ名前の劍精をみんなに配ってると思えば。
で、宿ごとに劍精がいるんだけど、一部の劍精は一部の宿にはいないってことがあるみたい。

そういう劍精に欠けがある宿は、人が少なかったり実力がなかったりするみたいね。

ここで冒険者になりたいなら、宿の劍精の数には気を配った方がよさそうよ。

あれ？ 今ちよつと考えただけど……

実はこの街の冒険者って劍精が創り出したもので、
冒険者がみんな同じなのは、劍精の陰謀です、って……

ありえるかな？ ないよね？

そもそも、私も船でここに来ているし、その船には同乗の冒険者もいたっ
て聞いているからちゃんと船で来てるよね？

そう、だから冒険者になる人はみんな船で来ているはず……

……どうしょ。

明日になったらわたしが増えてましたとかそういうの笑えないんだけど。

ちよつと怖くなってきた……。

この街で冒険者になるには、剣精に認められないとならぬらしい。

どうやらこの街で同じ冒険者がいっぱいいたのは、剣精の陰謀で間違いなさそうだ。

つまりわたしも冒険者になったら、その次の日にはたくさんのお冒険者の宿にたくさんのおわたしが増えるような状況になるというわけである。

そして、そのうち誰か一人でも蛮族バレしたら最後、たくさんのおわたしはみんな逃げ逃げるしかない、ということでもある。　　すぐ逃げ遅れそうな気がして怖い。

で、街から逃げ切れた同じ顔をしたわたしが群れをなして北のイグニス島に向かって大移動。

その姿を想像すると異様だとしか形容できない。

正直怖い。　　自信なくなってきた……。

……そういえば、妖魔ってほとんど同じ顔してるよね。

もしかしたら、こうやって増えてるのかしら。

拠点を作りたいです

■月♪日 晴れ

そういえば、そろそろ冒険者になるにしてもならないにしても、拠点がほしい。

あとそろそろ蛮族狩りできそうな場所見つけておかないと血のストックを気にしなきゃいけない。

ということと、とつても不安だけど拠点になりそうな冒険者の宿を探そうと思います。

こうしてみると、色々な冒険者の宿があって目移りしそう。

みんな同じ外見で、同じ中身してて、所属してる冒険者も剣精もほとんど同じだけど

だからこそか、名前はとつても多彩。

本当に色々……え？

その宿の名前を見た時、私は声を上げて立ち尽くしてしまった。

それもそのはず。その名前はあまりにも簡潔で、あまりにもとんでもない名前だったから。

え。

宿の名前が「え」。

すごくおかしい名前だ。こんな名前をつけるセンスが非常に疑わしい。

何を意味してるのか全くわからないのは、まあそういう名前の宿もたくさんあったから置いておくとしてもこの何にも考えてないを地で行くような名前は一体なんなんだろう。

そして立ち止まってしまったせいで、日の光が辛くなってきたので私はその「え」に入ることにした。

とんでもない名前と違って、宿の中は普通だった。

まあみんな同じ外見で同じ中身だから当然なのかもしれないけど。で、マスターと思われる人が依頼を整理している。あれが、えとか言う名前をつけた人。多分、すごく変な人……と思つてたら扉がボタンと開かれ

「やつほー！ qー！」

という声が聞こえてきた。

え？ q？

私が戸惑っている間に、扉を開けたドワーフの女の人はそのまますターっぽい人と話している。

ということは、あのマスターっぽい人、名前が「q」？

まさかそんな名前をつける人がいるなんて信じたくなかったんだけど。

と言うか信じられないんだけど。

あまりのことに私が固まっていると、ドワーフの女の人が帰っていく。

そして、それを見送ったqと言う名前のマスターが、私に気づいて向かってくる。

そしてどうしたのかなと聞いてきた。

私は、それに言葉を返せなかった。頭のなかにえとかqとかが浮かんで消えてとつてもわけがわからない。

しばらくして、普通の水を飲んで落ち着いた私は、早速聞いてみた。

なんで、え、なんて名前をつけてしまったのか。

qなんて名前をつけた親は何を考えていたのか。

「いや、それが……」

マスターは、言いにくそうに困った顔をして、こう言った。

「機種変更した時に、引き継ぎ機能使う前に名前設定があったから
名前も引き継ぐからそんな画面出さずに早く引き継がせろと思
いながら

適当な名前を入れたら、後で引き継いだ時名前だけ引き継がれな
くてね……

本当は別の、いい名前があるのに……。

そういえば、その時旧機種に残ってた侘び石10個くらい、な
くなってな……。

でもいいか、どうせ使わないし……」

ほとんど何を言ってるかはわからないけど、

店と自分の名前が適当になってしまった哀愁だけはとてもよく伝
わってきました。

今日はこの日記をまとめるのに疲れたので、部屋を借りてここで寝
ることにしました。

よく見たら、普段の倍くらいの量。確かに、それくらいの衝撃
だったけど。

そういえば拠点、まだ決めてないや。明日考えよ。

はじめての冒険です（前編）

□月◇日 晴れ

本来吸血鬼は昼寝て夜活動するのが常だけど、わたしの場合いろいろな都合で

昼間の活動が必須なので朝起きて夜寝る生活をしている。

そのおかげで、結構いろいろなパーティーの出立を見送ることができ
る。

で、色々パーティーを見て気づいたんだけど、すごく偏ってる気がする。
る。

冒険者がどういうものなのかは、伝聞でしか知らないわたしだけ
ど、

その組み方や考えは、ある程度は聞いている。

とりあえず敵の攻撃から仲間を守る前衛は必須として、その前衛を
立ち続けられるように守る

回復役と、前衛が時間を稼いでいる間に敵を倒す火力担当、それが
必要とだということ

少なくとも回復に関しては、プリーストが一番だと言う程度には。

でも、その回復のスペシャリストのプリーストが、ここでは全然選
ばれない。

宿にいないわけじゃない。そこそこいるのは、ちゃんと見て確認
してる。

にもかかわらず、高難度依頼に挑戦するパーティーを組む時は、必ず
前衛ふたりと後衛3人、

ソーサラーかコンジャラー、シューターから3人……のパーティーが
出来上がって、出発している。

おかしいな。回復できないって辛いよね？

わたし今でこそそれなりに弓を扱えるようになったけど、

そうじゃなかった頃は吸血鬼の力に頼った近接戦闘やってて、

その時は結構ダメージ受けてたから、回復のありがたみだけはよく
知ってるんだけど……

連戦するのに回復がないって、とつても大変なのに大丈夫なのかな？

そういえば、救命草とかポーションとか、みんな持ってないけどどうしてるの？

そう思つて前衛のみんなに聞いてみたら、旅の神官に回復してもらうからいい、つて。

なにその不確定で不安しかない回復手段。

それで全滅しないの？ と聞いたらむしろこうしないと全滅すると言われたわ。

おかしい……絶対おかしいでしょこれ。

そう思つてマスターに相談したら一緒に冒険すればわかると言われたので

思い切つて冒険してみることにしました。

(せっかく無料で護衛付き冒険ができるんですし、やっておいてもいいですよね?)

ホーレイさん、メリベルさん、エーリカさん、クラールさん、よろしくお願いします！

夕方出発で軽く近くの山を回つて蛮族をサーチアンドデストロイする企画です。

暗視ないとわりと辛いですけど頑張りましょう！

で、近くの森と街道周辺を一周しつつ、ゴブリンの群れを見つけました。

メリベルさんに聞いたら、ゴブリン+1だそうです。 え？ +1？

何が+1なんですかね？ と聞いたら普通のゴブリンより強いらしいです。

でも、たかがゴブリンです。 相手になるはずがありません。 だつてゴブリンですよ。

いくら+1されてるからつて、吸血鬼がそう簡単に負けるわけないじゃないですか！

メイスはそんなに慣れてないですが、ゴブリン程度なら十分です。ついでだからちよつとダメージ受けて回復してもらいましょう。新品のメイスの錆にしてやりますよ！

□月'日 晴れ

何アレ…… 本当に何アレ……

たかだか＋１程度で、あんなに強くなるものなの……？

先制取られたのはまあいいとするわ。たまにはそんなこともある。

あつちやいけないけどあり得ることだからそれはいいとする。

攻撃を受けたのもいい。あの攻撃は妙に正確だったけど私が油断してたから

1発当たったところまではしようがない。もう油断はしないし、残りはやんとかわせたからいい。

でも何？ あの破壊力。

正直、昼間に出発してたら間違いなく2発目貫つて、ついでに太陽に焼かれて死んでたわ。

予想外の痛みでメイス落としちゃったし。

出し惜しみしてたら死にかねないからメイスは諦めて、弓に切り替えて矢を放つ。

ゴブリン相手に使うものではないのだけでしょうがない。

特別製のわたしの矢。一発撃つのに魔力が必要だけど、

これまでずっと格上の蛮族たちも何もさせずに殺してきた、特別な魔力のこもった矢。

穢れの数が多い蛮族ならその動きを完全に止めることすら可能な、わたしの最大の切り札。

いつ手に入れたのかは全く覚えていないけど、蛮族を確実に殺しきれる力を与えてくれる宝物。

妖魔相手なら、その効果を發揮する前に一発で確実に殺しきれは
ずのその矢が

ゴブリンに当たって、そしてその動きを完全に止める……でも、殺
しきれてはいない。

これが当たっても即死しないほどの体力を、たかだかゴブリンが
持っているとも言えるの？

わたしと同種のレッサーヴァンパイア相手なら、一発で死ぬか死な
ないかまで持ち込める程度には威力あるはずなのに。

でもいいや。これで動きは止めた。

所詮下位の蛮族だからあまり長い時間は止められないけど、時間稼
ぎはできる。

こいつにとどめを刺すか、残った動いているのを攻撃するか、

それは実戦経験のあるメリベルさんたちにお任せします。

ということ、メリベルさん、お願い！

……すぐさま、メリベルさんから魔法が放たれる。

今、私が止めたゴブリンに……。

スタン+3が。

はじめての冒険です（後編）

□月'日 晴れ（続き）

スタン+3。相手の回避率を下げる魔法。

フェアリーテイマーの魔法はいくつか実際に見て知ってるけど、スタンなんて魔法の名前は話題に上がりすらしなかった。

だから、はじめて見る魔法だし使ってみて欲しいとは言った。確かに言った。

でもこの状況で、私が止めた敵に対して使うものじゃないでしょ。せめてその隣で動いてる別のゴブリンにやってくれないかな？

それでも大体当たるからいらんだけけど。

そう思ってたなら、クラールさんのスパークがわたしとゴブリンのいる乱戦に到達し、

わたしを避けてゴブリンを焼く。

……そして、その一撃で私が動きを止めたゴブリンと、その他のゴブリンの群れを

まとめて仕留めてみせた。

ありがとうクラールさん。あなたがいなかったら死んでたかもしれない。

こうして、わたしのグレイシア島での初めての戦闘が終わった。

ゴブリンがここまで強いとなると、他の蛮族だって強いかもしれない。

甘く見てたけど、気を引き締めなきや。いつでも死にかねないわ。

それはそうと。

あの、ホーレイさん。わたし結構傷ついてるんですが回復してくれませんかね。

え？ 戦闘中じゃないから回復魔法使えない？

いや、戦闘中にしか使えない回復魔法なんて聞いたことないんです

けど。

確かキュアハートでしたよね？ あれは戦闘終わった後でも普通に使えるはずですよ？

霧の街で戦闘終わった後に回復してもらったこともあったから確かです！

え？ それでもダメ？ 何ですかそれ！

プリーストの仕事は万全の状態で前衛のみんなが戦闘できるようにすることですよ！

仕事してください！ 切実をお願いします！

とまあ、そんな感じで揉めに揉めたのだけど、結局ホーリィさんには回復してもらえなくて

自前の自然回復を頼りにしながら次の敵を探しに行ったら、代わりに旅のプリーストさんを見つけました。

そして傷ついてる私を見て回復魔法をかけてくれたんです！ ありがとうございます！

………って、やっぱり戦闘してなくても回復魔法使えるじゃないですか！

この旅のプリーストさんは使えてますよ！ おかしいじゃないですか！

と思ったところでようやく理解しました。

ここでは、移動中でも回復魔法が使える旅のプリーストさんの方が戦闘中にしか回復魔法が使えない仲間のプリーストより確実に安定しているのです！

なんということでしょう！

これはもうプリーストは全員旅に行かせるしかありませんね！

そう言ったら旅のプリーストさんがすごく寂しい顔をしました。なんでもか聞いてみたら、

自分も仲間と一緒に冒険するのを夢見て、1回冒険したがもうプリーストいらないと言われて

パーティーから追い出されて、仕方なく旅に出たらしいです……。

もしかすると、旅のプリーストさんがみんなを回復してくれるのはわたしたちがプリーストを迫害しているからなのかもしれません。

……でも仕事してくれないプリーストはいらないと思います！

二突射撃を覚えたいのです

□月、日 多分晴れ

あれ、起きたらもう夕方？ 昨日の冒険の疲れが出たのかな……
とりあえず、今日はもう何もできそうもないので宿で二突射撃を覚えて
いる人に

覚えられる場所とか、使い方を聞いてみようと思います。

ということでシューターの人を探してみましよう！

見た感じ、シューターいませんね……。

やっぱりここでは単体火力として有用なシューターは引つ張りだ
こみたいです。

仕方ないので聞いてみようと思います。

そうしたらやっぱりシューターはいないみたいです。

二突射撃を覚えている人はみんな…… え？ いるんですか？

なるほど。 ファブリさんですか！ 尋ねてみます！

え？ 冒険？ わたし弱いんで結構です！

と言う感じで二突射撃を教わりにファブリさんのところに行きま
した。

ファブリさんはグラスランナーでした。

そういえばグラスランナー、この宿であまり見ませんでしたね。

でも二突射撃を教えてくださいるなら問題ないです！ よろしくお願
いします！

で、ファブリさんは二突射撃がどういうものなのかを教えてくださいま
した。

これ、影矢の秘伝なんですね。 影矢は一応覚えているのでわたし
も使えそうです。

3回攻撃できる流派特技、覚えるのが楽しみです。

ちなみに、せっかくですから街の外で実際に試し撃ちしてみてくださいます？

え？ 撃てない？ 为什么呢？

二突射撃を使うにはMPが必要で、自分はグラスランナーだからMPがない？

あの、魔晶石は？ そんなのグレイシア島にない？ そうですか……。

……あの、すみません。一つ聞いていいですか？
なんでわざわざ使えない特技覚えたんですか？

ここの戦闘特技がMP消費するものだと知らなかった……。なるほど。

ちなみに他の戦闘特技はどうだったんです？

え？ みんなMPが必要？

それに多くのグラスランナーが気づかないで無駄なの覚えてる？

そうなんですか……。 お気の毒に……。

しかも覚えても使えないことが広まったから

みんなにグラスランナーは地雷と呼ばれてパーティに入れてもらえない……？

まあ確かに特技使えないのは地雷な気がします。

プリーストもひどかったですが、これはそれを上回るひどさです。

パーティに入れたくないのもわかる気がします。 と言うか入れたら死にそうなのでわたしも入れたくないです。

でも、確かグラスランナーってマナ不干涉っていう魔法に対してとても強くなる特徴があったって聞いてますよ？

だから、敵が魔法使ってくるころでは需要ありますよね？

え？ そもそも敵が魔法使ってこない？ なんですかそれ。

ちよつと強い蛮族であれば魔法使ってきますよね？ 他の種族でも使ってきますよね？

私だって霧の街で蛮族殺してた時は敵がたくさん魔法使ってきたよ？

え？ 攻撃魔法使う相手が出てこない？ そうですか……。

それにどうもマナ不干渉が機能してない……？ ってなんですかそれ!?

グラスランナーの個性が一大事ですよ！

それ全種族の劣化コピーにしかなくてないじゃないですか！

え？ だからパーティに入れてもらえない、って……。なるほど

……。

個性がなくなるのって寂しくて悲しいですね……。

なんかもう、かける言葉も見つかりません。

敵にかけて来る魔法つとつても面倒でとつても嫌なのですが、

だからと言って、ないとそれはそれで困るのかなあと思つた一日でした。

でも、やっぱり敵は魔法使つてこない方がいいなあ。 安心できるし。

ゴブリンの強さを検証したいです

□月○日 晴れ

さて、私がここにしばらくいるにあたって、問題になる点が1つあります。身バレ対策です。

ひとまず仮に正体ばれても街にいれるくらいにはしたいです。

剣のかけらはいくつか持ち込めますが、それで守りの剣が持ち込まれたら元も子もなくなるので

ひとまずここでそれなりに蛮族を殺せるくらいにはなりたいたいです。

それに、そろそろ血の供給が欲しいです。早いうちに安定供給したいのです。

けど、どう考えたって敵が強すぎるので対策を組まなければなりません。

対策を組むには、まず敵がどのくらい強いのかを見極める必要があります。

ということで今日は夜中に一人で見回りです。

少なくとも、蛮族の敵にはわたしの矢が効くのはわかっているので孤立している蛮族を倒すのだけは確実にできるはずです！

ということで、検証に当たって大事なこととして複数を相手にしないことを決めて見回りに出向きました。

基本的に蛮族は複数体で動いているらしく、なかなか単体の蛮族が見つかりません。

おびき寄せるにしても、2体までが限度ですね。

もうしばらく探して見つからなかったら、2体で妥協することになります。

単体は見つかりませんでしたでしたが、コボルトとゴブリンの組は見つかりました。

ゴブリン2体よりは弱いはずなので、これを狙います。

コボルトさえ不意打ちで倒せばいけるはずです！

倒せるかどうかわからないけど、2発あればいけると思うので

不意打ち当てて、ゴブリンに一発当てて動きを止めている間に倒せばいいはずです！

なんなんですか……

不意打ち決まったところまではよかったですけど、あのゴブリン動き早すぎませんか？

あれ絶対慣れてる動きかなんかですよ！ 普通ゴブリンはあんな動きしません！

まさかすぐにわたしに向かってくるなんて…… かわせたからいいんですけど。

でもまあ、わたしの矢の敵ではありませんでした。 動きさえ止めればただの的ですよ！

で、コボルト殺すのに矢が3発いるのっておかしくないですかね。明らかにおかしいですよ。 あのコボルトの体力。

わたしよりも体力あるコボルトとか嫌なんですけど。で、ゴブリンも同じくらい頑丈だったのでいっぱい血をいただけました。

ゴブリン味なのであまり期待していませんでしたが、予想外にまともな味をしていました。

トロールとかドレイクとかの血に近いです。 つまり、上位蛮族級のゴブリンみたいです。

それに、サイズの割にもすごい血の量があります。 この量なら1匹だけで十分な程です。

あれ？ ということはもしかして肉付きも……。

思った通り、いいですね……。 こんなゴブリンの肉付きじやな

い……。

どちらかと言うとトロールとか、そう言った感じの引き締まった肉付きです。

普通妖魔とかはそんなに栄養状態よくありません。

数だけ増えるのが強みですかららひよろひよろです。だから血ももうとんでもなくまずいのが普通なんです。

でも、このゴブリンはそうじゃない。

しっかりとした肉付きと強力な筋力を持ってて、そこそこの味がする栄養が詰まった血がたくさんある。

それは要するに、栄養状態がよく、しっかりと鍛えられているということを意味します。

ということは、数だけ増えるはずのゴブリンがこれだけ食べていけるだけの食料がどこかにある？

……違いますね。

そんなのがあつたら、ゴブリンは無限に増えてすぐに食糧不足になるはずです。

それに、略奪しか脳のないようなゴブリンの体がここまで鍛えられるなんてこともないはずですよ。

ゴブリンの数をコントロールできる何かがあるってことですかね？

それとも、ゴブリンをいっぱい混ぜて強力なゴブリンでも作ってるんですかね？

どちらにせよ、陰謀の香りがします。大きな戦いになりそうですね……。

報告の日です

□月★日 晴れ

出発からそろそろ1月が経つので、今日は報告の日です。報告に当たって久しぶりに日記を見直して、唐突に思ったんですけど。

クラールさんのスパーク、なんか異様に強すぎる気がします。

霧の街では、妖魔に矢なんかもつたいなくて使えなかったからあんまり比較できないんだけど、

わたしが矢を使って3発かけないと倒せないものをスパーク1発で倒しきれるのは

さすがにもものすごい攻撃力の差を感じます。 魔力どのくらいあるんですかね？

と思ったので、報告の時にいでにスパークについて聞いてみたんですけど、

スパークは本人の魔力とほぼ同じくらいの威力しか出ない魔法だそうです。

ということは、クラールさんの魔力がものすごい高い……？

少なくとも、私の矢が与えるダメージの最低でも2倍の魔力は持つてることになります。

そう、ダメージの2倍だから、防具がもつと薄ければこちらに有利になります

相手がゴブリンであることを考えると、もつと防具が薄い奴なんていそうにないんですよ……

どちらにせよ、あのくらいのダメージが出ないとここではやっていけないんでしょうか？

正直、全然やっていける気がしません。 と言うかやっていける自分のイメージすら湧いてきません。

そう報告したらついでにこの奴らがどのくらい強いのかも確認

してくれとか言われたので
やるしかないんですけど……

この件については、この店のマスターにちよつと世間話を振って聞き出してみようと思います。

……え？ あの、聞き間違いってことにしたいんですけど。

60レベルってなんですか!?! ちなみにわたしは11レベル？
つまりわたしの5.5倍？

それおかしいとかそういうレベルの話じゃないですよ！

え？ 知力229ってなんなんですか!?! それ人間ですか？

……ナイトメアでしたね。

でもそんなの関係ないです絶対おかしいです！

最近封鎖領を平定して蛆夢から人々を解放した伝説の人たちの話を聞きましたけど

神の恩恵を受けに受けたその人たちでさえ上限17レベルで最大知力も82だったって話ですよ!?!

もう知力もレベルも普通に3倍じゃないですか！

これ普通に神だつて殺せますよ！ と言うかむしろお願いですから殺してくれませんかね。

今ならすぐく強力な魔剣もオプションでついてきますよ！

……ちなみにそんな神超えた冒険者で何やるんでしょうか。

世界征服でもやるんですかね？

え？ 最近の依頼、対象レベル60くらいだからそんなことしてる暇ない？

嘘ですよ？ そんなはずないですよね。

わたしは霧の街ではまともに生きていけないから人間辞めてるんですが、

ここで生きていくためには何を辞めればいいのか。

なんなんでしょう。この人外魔境。
命の危険しかないのもう帰っていいですか？
ダメですよね
……。

帰ることになりました

8月31日 晴れ

とりあえず命令あるまで帰れそうにないので、ここでやっていくためにも

二突射撃を本気で覚えようと思います。

冒険帰りの弓使いのアルブレヒトさんと言う人に相談できたので、どこで特訓できるか聞くことができました。 さっそく行ってみます！

……練習場、屋外にある…… 昼間練習できない……。

9月1日 晴れ

二突射撃を教えてくださいる人に弟子入りしました！

屋内で教えてくれることになったので、しばらく本格的に二突射撃に専念する予定です。

実際に見た感じですが、その使い方は影矢の発展形で3本の矢それぞれを速射するみたいです。

ただ、1本1本で考えるとそれほど弓を引けない結果射程が相当減りそうですね。

遠くから不意打ちをするのでなければ使えそうです。

そもそも射程の必要ない、接近された時の攻撃手段としてはベストですね。

仲間がいる時は不意打ちくらいしか使い道がないと時々言われる弓ですが

これがあれば、確かに戦えそうな気がします。

ここで生き残るには、これがあっても相手によっては厳しいですけど……。

9月2日 晴れ

よく考えたら、二突射撃覚えたら帰れるんです。
あんまり無理して遠出すると強い敵が出てきそうな気がするので
近場でゆっくりやっていこうと思います。

そういえば、最近リスとか言う開拓村が蛮族とアンデッドの群れに
襲われてるみたいです。

わたしにも話が来たけど、二突射撃を優先することにしました。
近々いろいろありそうですね。 開拓村で防衛失敗したら、こつち
で戦争になるのかな？

そうなたらちよつとやばいかも。

でも、みんな強いからそんな危ないことは起こらないよね？ 多分
……。

9月3日 晴れ

開拓村は無事防衛に成功したみたいです。 一安心。

激しい戦闘になりそうな気がするので、練習量を増やすことにして
います。

そういえば、最近輝幻石が取れなくなっただけです。

こうなると1か月後にここは元通りどこかに消えるらしいです。

つまり、30日にここにいると脱出できなくなってしまうので急が
ないと。

とりあえず、27日の便に予約を入れておきました。 文字通りの
最終便です。

これを逃すととても危険なので気を付けないですね。

9月4日～9月13日

※このページには二突射撃と射手の連撃などの流派特技の概要と使用方法、

考察などしか書かれていないため省略

9月14日 曇り

やりました！ 流派を覚えきりました！ 間に合いましたよ！

あと、ミストグレイブに行つたみんなから連絡が来ました。 明日から帰るみたいです。

今から帰ると多分1週間くらいかかるので、カシユカーンで待つてれば間に合はず。

予約を明日の11時の便に切り替えました。

いよいよ最後の一泊なので、荷物を整理してみんなに挨拶して……
こうしてお別れするとなると、なんだかとても寂しいです。

9月15日× 曇り

今日は朝早めに起きて、10時くらいから待とうとして起きてたら突然霧が出てきて、気が付いたらカシユカーンの門の前にいました。

いったい何が起こつたんでしょう？

後で聞いた話によると、この時ももうすでにグレイシア島はなくなつていたみたいです。

あと15日、あつたはずなのに。

で、ミストグレイブに行つたみんながもう帰つてきてその場にいたので、

最後の報告と報酬の相談をしました。

これで、あとはわたしの用事だけ。

アールさんに二突射撃を教えれば、私の旅もおしまい。

残念ながら彼は霧の街にはもう行かないらしいので、私が彼の旅に同行することになりました。

せっかくだから、色々な場所を見て回れるといいなと思っています。

グレイシア島。 とつても、不思議な島でした。

ゴブリンがとても強かったり島が突然消えたりとか、本当に色々おかしいことはあったけど

今思い返すと、そこそこ楽しかった気がします。

また行きたいかと聞かれると、正直悩みますけどね。

P・S・ 9月15日だと思ってたら2日経ってました。 2日

間わたしに何があったんでしょう？